

2017.5 Vol.34

地方独立行政法人宮城県立病院機構

がんセンター 便り

 宮城県立がんセンター地域医療連携室



新たな時代を迎えたがん医療を推進

かたくら りゅういち
総長 片倉 隆一

日頃、宮城県立がんセンターにご協力を賜り感謝申し上げます。

宮城県立がんセンターは、昭和42年、1967年に黒川利雄初代院長のもと宮城県立成人病センターとしてスタートし、平成5年東北地方唯一のがん専門病院・宮城県立がんセンターと改名し再スタートしました。本年は成人病センター開院から50周年と節目の年を迎えます。職員一同、次世代のがん医療を担う歴史を築いていけるよう決意を新たにしております。



今、がん医療は新たな時代を迎えようとしています。平成18年のがん対策基本法施行後、平成19年に第1期がん対策推進基本計画が策定され10年が経過、今年6月に第3期がん対策推進基本計画が閣議決定されます。当センターとしても、新たな計画の実践に向け、先頭に立って進んでいけるよう努力をしております。また、がん医療はゲノム医療に向け動き始めました。患者個々の膨大な遺伝子情報や様々な臨床情報を、何万の論文で学習させた人工知能（AI）で解析し、予防法、診断、治療法などを提示していく医療体制です。国家プロジェクトとしてその構築を急いでおりますが、当センターも、最新のゲノム医療に対応できる体制づくりを進めてまいります。

この春2人の大学教授が誕生しました。当センター研究所がん幹細胞研究部部長の佐藤賢一先生が東北医科薬科大学第2内科（消化器科・糖尿病科）教授に、呼吸器内科科長の前門戸任先生が岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科教授にそれぞれ就任されました。当センターからは6人目、7人目の大学教授誕生となりますが、今後も学術的に優れた人材を輩出できる環境づくりを推進してまいります。

今年度も、基本理念にある良質かつ先進的医療の提供に向け職員一同努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

遺伝カウンセリング 相談・検査実施

乳腺外科 かわい 河合 まさあき 賢朗

2013年、米国の女優アンジェリーナ・ジョリーさんが健康な乳房を切除した事を世界に公表しました。2年後の2015年には健康な卵巣卵管を切除しました。

彼女は母親、祖母、叔母を乳がん・卵巣がんで亡くしており、検査を行ったところ遺伝子「BRCA1」に異常があることが分かりました。これは、何もしなければ生涯に87%の確率で乳がん、44%の確率で卵巣がんになることを意味します。彼女は、この結果から自らの意思で手術を選択しました。

BRCA1/2と呼ばれる遺伝子に変異がある遺伝性乳がん・卵巣がん症候群（HBOC）の女性は乳がん・卵巣がん・卵管がんになりやすいことが知られています。また男性にもHBOCがあり、前立腺がん・膵がん・男性乳がんになる確率が高いことが知られています。これまでの研究から介入（乳房切除、薬による乳がん予防、卵巣卵管切除）、検診（若年時からの自己検診、MRIやマンモグラフィ検診等）を行う事で乳がん・卵巣がんリスクが低下する事が報告され、海外ではHBOC患者を対象に個別化した医療が行われています。

日本においてもHBOCの比率は欧米と変わらないことが明らかになりましたが、HBOC患者及びその家族に対する対策は充分とは言えません。当院では2015年からHBOC診療を中心とした遺伝カウンセリング外来を立ち上げました。まずは質問紙調査に回答して頂き、HBOCの可能性の高い人に対して遺伝カウンセリング外来受診のお声がけをしております。同意された方に認定遺伝カウンセラーによる遺伝カウンセリングを行っております。遺伝カウンセリングは完全個室で個別面談を行っております。本結果を基に同意が得られた方に遺伝子検査を行い、今後の方針をご説明し、受診者の意思決定をお手伝いしております。個人情報保護に最大限の配慮を払っております。

現在は遺伝性腫瘍という存在から発がんリスクの予測、予防に社会の注目が移り、医療も「疾病に対する治療」から「疾病に対する先制医療」へと変わりつつあります。「家族にがんが多く遺伝ではないだろうか」「子供に自分のがんが遺伝するのでは」「どうしたらがんを予防できるのだろう」等の疑問をお持ちの方は、遺伝カウンセリング外来・乳腺外科に気軽にご相談頂ければ幸いです。



前列左より 看護師佐山、乳がん看護認定看護師五安城、認定遺伝カウンセラー小川、診療科長角川
後方 乳腺外科河合



新任医師紹介

平成29年 4月1日付け

- ①診療科
- ②氏名 (ふりがな)
- ③出身地
- ④挨拶・抱負

平成29年 1月1日付け

- ① 放射線治療科
- ② 久保園 正樹(くぼの まさき)
- ③ 青森県
- ④ 2017.1月より放射線治療科に着任致しました久保園正樹と申します。

がんセンターでの勤務は3度目でございます。思えば十数年前、ギリギリ20歳台だったわたくしは「なんで君のような若造ががんセンターに来たんだ」と言われもうそろそろ30歳なのにここではそんな若手なのか、と困惑しました。今ではすっかり40歳代のオッサンです。いろんなところが出たり引っ込んだり生えたり抜けたりしています。

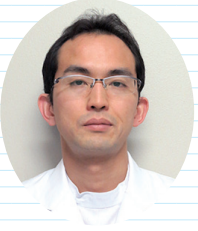


- ① 泌尿器科
- ② 安達 尚宣(あだち ひさのぶ)
- ③ 仙台
- ④ 皆様初めまして。泌尿器科の安達と申します。このたび東北大学病院より異動して参りました。患者様に寄り添った医療を心がけたいと考えております。よろしくお願ひいたします。



- ① 消化器内科
- ② 岩井 渉(いわい わたる)
- ③ 宮城県
- ④ 本年4月より消化器内科に勤務しております岩井渉です。

東北大学消化器内科上部消化管グループに属しており、前任地は八戸市立市民病院で5年間勤務しておりました。まだまだ至らない点等ありますが、皆様の力になれるよう努力いたしますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



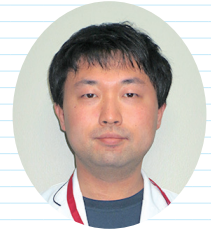
- ① 整形外科
- ② 佐藤 博宣(さとう ひろのり)
- ③ 宮城県
- ④ 平成29年度より赴任しました佐藤博宣と申します。昨年度までは主に骨折、外傷、脊椎外科、手外科などの診療に携わっていました。がん患者様の治療に携わったことはあまりありませんので、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかもしれません。上級医である村上先生、鈴木先生のご指導をいただきながら、一日でも早く業務に慣れ、皆様のお役に立ちたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



- ① 頭頸部外科
- ② 藤井 慶太郎(ふじい けいたろう)
- ③ 青森県八戸市
- ④ レジデントとして4月よりお世話になっております。初心を忘れず日々を送りたいと思っています。何卒よろしくお願ひいたします。



- ① 呼吸器外科
- ② 菊池 直彦(きくち なおひこ)
- ③ 宮城県
- ④ 質の高い医療を提供できるような日々の診療に励んで参ります。患者さんや地域の医療者の方々に信頼していただけるように精一杯頑張りますので、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



- ① 頭頸部外科
- ② 岸本 和太(きしもと かずひろ)
- ③ 兵庫県尼崎市出身
- ④ 金沢医科大学頭頸部外科学講座より出向という形で4月よりこちらの頭頸部外科に配属となりました。臨床、研究とを同時に欲張って学び、今後の自身の糧になればと思っております。ご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが日々精進し頑張っていきたいと思っております。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



退任医師の紹介

(平成 28年 12月31日付け)

野口 哲也 消化器内科
片桐 佑 放射線治療科

(平成 29年 3月31日付け)

前門戸 任 呼吸器内科
佐藤 卓 呼吸器外科
田中 峻希 泌尿器科
田中 遼太 呼吸器外科
矢野 利尚 整形外科
大久保純一 頭頸部外科
佐藤 賢一 研究所 がん幹細胞研究部



「高齢がん患者の看護のポイント」

- ・ 高齢がん患者の疼痛マネジメント がん性疼痛看護認定看護師 早坂 利恵
- ・ 高齢がん患者のせん妄 緩和ケア看護認定看護師 佐々木晴美
- ・ 高齢がん患者の感染症の特徴 感染症看護専門看護師 菊地 義弘

- 日時：平成29年7月22日（土）9:30～12:30
- 場所：宮城県立がんセンター 1階 大会議室
- 定員：50名
- 対象：医療施設、社会福祉施設、訪問看護ステーション等で働く職員
- 申込：申込用紙にご記入のうえFAXにて、お申込み下さい

※ 専門・認定看護師による出張出前講座も承ります！是非、お問い合わせ下さい！

● お問い合わせ先
看護部 副部長 佐藤 千賀



外来新患診療体制表

平成29年5月現在



(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科	新患	●	●	●	●	●
	専門外来	下部・肝臓	肝臓	上部・胆膵	肝臓・下部	上部消化管
血液内科		●		●		●
腫瘍内科		●		●		
呼吸器内科		●	●	●	●	●
呼吸器外科				●		●
乳腺外科		●			●	
消化器外科			●	●		●
整形外科			●		●	●
脳神経外科		●	●	●		●
頭頸部外科		●	●		●	
形成外科			●			●
婦人科		●	●		●	
泌尿器科		●		●	●	
放射線治療科		●	●	●	●	
緩和ケア内科				●		●

* 消化器科では、専門外来の診察日にも紹介患者さんの予約を受け付けております。お申し込みの際にご確認下さい。
診療受付時間：午前8時30分～11時00分 TEL 022-384-3151(代) FAX 022-381-1169 (地域医療連携室)



交通案内

J 桜交 **R** 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
仙南交 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用
自家用車 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用
仙台南インターからは、国道286号バイパス経由
県道仙台・岩沼線を利用 (所要時間約15分)

地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

- 受付 午前8時30分～午後5時15分
- TEL (022) 381-5152 (直通)
- (022) 384-3151 (代) 内線123
- FAX (022) 381-1169 (地域医療連携室)

宮城県立がんセンター
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
電話(代表) (022) 384-3151 FAX(企画総務課) (022) 381-1168

□ゴママークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。